

**幼稚園と各学校で  
聞きました!**

## 子ども達に 人気の献立

<b>松田・ 寄幼稚園</b>	豚丼 味噌汁 果物
<b>松田小学校</b>	キムタクご飯 かぼちゃフライ ナムル、牛乳 レタスと卵のスープ、オレンジゼリー
<b>松田中学校</b>	キムタクご飯 豚汁 さんまの蒲焼風 きんぴらごぼう、牛乳
<b>寄小・中学校</b>	キムタクご飯 わかめのサラダ のっつい汁 牛乳

**小・中学校で人気のキムタクご飯  
(キムチとつぼ漬けの混ぜご飯)の作り方**

**材料** .....  
 ・炊いた白米(2合分)  
 ・つぼ漬け 50g  
 ・豚肉 60g  
 ・しょうゆ 小さじ1杯  
 ・塩、コショウ 少々  
 ・炒り白ごま 小さじ2杯  
 ・ごま油 小さじ1杯

**作り方** .....  
 ①豚肉は小さめに切り、酒をまぶしておく。白菜キムチとつぼ漬けは粗く刻む(キムチの汁はとっておく)。  
 ②フライパンにごま油を入れて豚肉を炒める。  
 ③④に白菜キムチ、つぼ漬け、調味料を加え、軽く炒める。  
 ④温かいご飯に③と白ごまを混ぜ合わせて完成。

**安全で安心、そしておいしい給食を…**

町立幼稚園と小・中学校では、建物内に給食室を持つ自校方式で児童・生徒に給食を提供しています。

今月は、学校給食と食育の取り組みについて紹介します。

**●食数は一日867食**

小学校の中休み、給食室から教室や校庭に美味しい匂いが漂ります。その匂いに誘われて子どもたちが「今日の献立は、キムタクご飯だ」とうれしく話しています(左にレシピ掲載)。

松田小学校の座間栄養教諭による給食の作業開始は午前8時10分。午後0時15分

から給食が始まるため、午前11時50分には最後の食缶がワゴンに積み込まれます。安全でおいしい給食を提供するため、5人の調理員さんによつて、手際良く作業が進められます。

松田・寄幼稚園は120食、松田小学校は420食、松田中学校は255食、寄小・中学校は72食、1日に合計867食の給



このように、地産地消の学校給食を推進し、地域の食文化や食にかかる産業や自然環境への理解を深めるよう努めています。

また、食物アレルギーなどにより特別な配慮が必要な児童・生徒に対しては、保護者から提出された「学校生活管理指導表」をもとに、アレルギーの症状や除去食材などの面接を学校側と入念に行つた上で、安全で安心な食去食や代替食を提供しています。

**別指導を行うことを定め、学級長に対して食に関する指導の全体計画の作成を義務づけています。**

各校ではこれに基づいて



お弁当の日は輪になって行っています。また、幼稚園でも食事中のマナーや三角食べの声かけ、園で採れた野菜の給食への活用などを行っています。

●食育の取り組み

「学校給食法」では、学校の紹介やお弁当の日の実施

の皮むき体験、「食育だより」の発行、地場産野菜についての紹介やお弁当の日の実施

(年3回)などを行っています。

**文化財探訪**

**矢倉沢往還 27 【最終回】**

文化財保護委員 草門 隆

戸・三島間の距離は短く、幕閣

関係の役人の通行が年々多く、開国前後から新しい情報が行き交わっていた」とあり、既述の「信仰・経済・軍の道」に加え、近代日本創造に寄与する重要な役割を担つた「情報の道」であつたとも言えます。この矢倉沢往還の「町内3ルート」の誕生は、酒匂川や川音川などの流路変遷や当地の地形・地質上の特質に加え、奈良・平安時代から中世・近世・近代への時代背景や経済的要因があり、かつ、そこに「青山街道本道争い事件」に見られる「郷土愛」とも言うべく、人的要因も否定できません。この道の存在・変遷は、明治22年の東海道本線と昭和2年の小田急線の敷設に相まって、県西部の交通の要衝・中核の地として町の繁栄の源であり「町の一つの資源」ではないでしょうか。

しかし、それを補完できたのは、約50年前の「松田町明細地図帳」(私蔵)で、この類の地図としては最古のものです。この3コース(道)の存在や名称については、当町近隣の矢倉沢往還筋の2市2町(秦野・南足柄、大井・開成)からも承認をいただいています。

金原左門氏は、著書の中で「この往還は、東海道より江

戸・三島間の距離は短く、幕閣関係の役人の通行が年々多く、開国前後から新しい情報が行き交わっていた」とあり、既述の「信仰・経済・軍の道」に加え、近代日本創造に寄与する重要な役割を担つた「情報の道」であつたとも言えます。この矢倉沢往還の「町内3ルート」の誕生は、酒匂川や川音川などの流路変遷や当地の地形・地質上の特質に加え、奈良・平安時代から中世・近世・近代への時代背景や経済的要因があり、かつ、そこに「青山街道本道争い事件」に見られる「郷土愛」とも言うべく、人的要因も否定できません。この道の存在・変遷は、明治22年の東海道本線と昭和2年の小田急線の敷設に相まって、県西部の交通の要衝・中核の地として町の繁栄の源であり「町の一つの資源」ではないでしょうか。

最後に、「道とは先人の汗と涙の賜物で、町発展の歴史」として、先人のレガシーに対し、感謝しつつ、皆様の心に響いていただけるものがあれば幸甚です。ご要望や激励もいただき、長い間本当にありがとうございました。

**学びの広場**  
2018

【問い合わせ】 教育課 学校教育係 □(83)7023  
教育課 生涯学習係 □(83)7021

給食の活用による「食育の充実」が掲げられています。具体的には①学校給食で摂取する食品と健康の保持増進の関連について指導する

②食について特別の配慮を要する児童・生徒に個別指導を行うことを定め、学



お弁当の日は輪になって行っています。また、幼稚園でも食事中のマナーや三角食べの声かけ、園で採れた野菜の給食への活用などを行っています。

**矢倉沢往還・町内の3コース**

連載の終わりにあたって